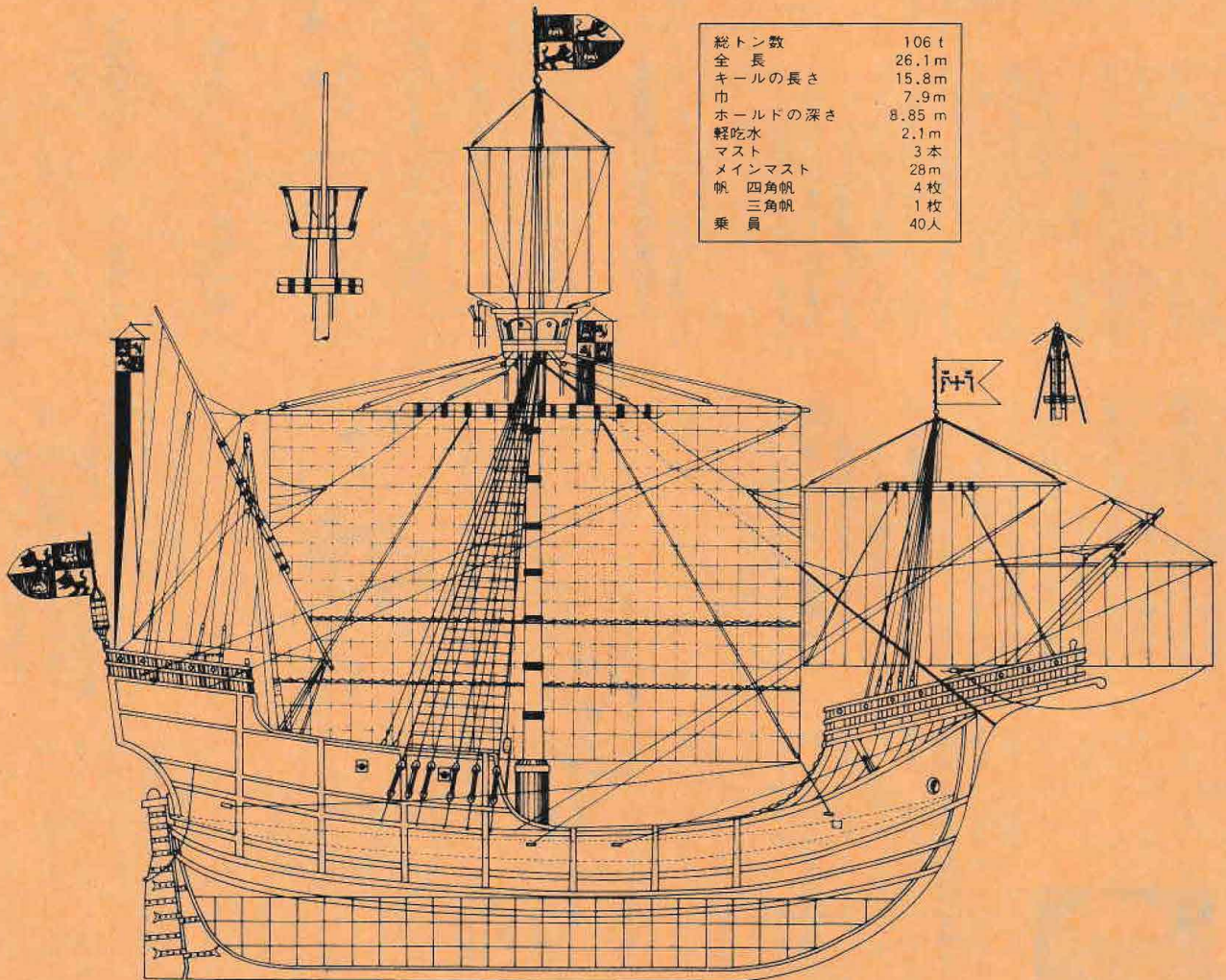


# コロンブス新大陸到達500年を記念

## サンタ・マリア号 SANTA MARIA の紹介



総トン数	106 t
全長	26.1m
キールの長さ	15.8m
巾	7.9m
ホールドの深さ	8.85 m
軽吃水	2.1m
マスト	3本
メインマスト	28m
帆	四角帆 4枚 三角帆 1枚
乗員	40人

15世紀のスペインにはナオとカラベラという二つのタイプの船があった。ナオは船首楼と船尾楼とを持つ3本マストの大型のずんぐりした丸い船でサンタ・マリア号はこれに属する。カラベラは船首楼のないや細長い2本ないし3本マストの小型の船をいい、ピント号、ニーニャ号はこのタイプの船であった。コロンブスも日誌の中でサンタ・マリア号を「ナオ」と書いているが、専門書によると、キャラックと書かれることが多い。キャラックは15世紀に初めて登場した、四角帆と三角帆とを備えた外洋型帆船タイプの船で、後世の、いわゆる全装帆船（フル・リグド・シップ）の原型である。

サンタ・マリア号はコロンブスがやっと手に入れた古ぼけた帆船で、彼自身「この船は船足が遅く、操作が困難で吃水も深すぎ、発見のための航海には適していない」と言っていた。はたして彼の予言どおり、1492年12月25日のクリスマスにエスピノーラ島沖で座礁、解体された。（日本放送出版協会「人間は何を作ってきたか3船」より）

ロマネ・コンティを  
 聞く会のお知らせ  
 フランス、ブルゴーニュ  
 地方の幻しのワイン「ロ  
 マネ・コンティ」を筆頭  
 に、食前酒から食後酒に  
 至るまでの数々の偉大な  
 ワインをフランス料理と  
 共に賞味する「ロマネ・  
 コンティを聞く会」を開  
 催致します。

今回は日本ソムリエ協  
 会会長（元ホテルオーク  
 ラ・チーフソムリエ）の  
 桑山為男氏をお招きして、  
 ワインについてのお話し  
 を交えてお送り致します。

日時 11月20日（金）  
 PM 6・00  
 人数 先着11名

詳細はオクソンまでお問  
 い合わせ下さい。

